

こんにちは 保健センターです

問合せ 保健センター ☎0495-77-4041 FAX0495-77-0550

妊婦さんへのRSウイルスワクチン接種が4月から始まりました

RSウイルスは、赤ちゃんが感染すると重い肺炎などを引き起こすことがあります。妊娠中にRSウイルスワクチンを接種することで、母体でつくられた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた赤ちゃんのRSウイルス感染症を予防します。

RSウイルス感染症とは

RSウイルス感染症は、急性の呼吸器感染症で乳幼児に特に多い感染症です。

【高い感染率】

1歳までに約50%、2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染するとされています。

【重症化のリスク】

何度も感染を繰り返します。初めての感染が最も重症化しやすく、特に生後6か月以内に感染すると細気管支炎や肺炎などで入院が必要になるケースがあります。

定期予防接種の概要

ワクチン RSウイルス母子免疫ワクチン

接種時期 接種日時時点で妊娠28週0日目から36週6日目

接種回数 妊娠ごとに1回(筋肉注射)

費用 無料(公費負担)

方法 町が契約した医療機関での個別接種

【接種までのながれ】

- ①妊娠届出時に予診票等を窓口でお渡しします。すでに母子手帳を交付されている方には、順次郵送で予診票をお送りします。
- ②町と契約した医療機関へ直接予約をしてください。
- ③受診当日は予診票と母子健康手帳を持参し、体調の良い時に接種を受けてください。

※主な副反応としてアナフィラキシーショック、接種部位の痛み、筋肉痛、赤み、腫れ、頭痛、疲労等が報告されています。

【町が契約していない医療機関での接種を希望される方】

持病のため町が契約していない医療機関や里帰り出産先での接種を希望される場合は、一度自費で支払をした後、申請により費用をお返す「償還払い制度」があります。申請書が必要なため、事前に保健センターまでお問合せください。

※出産の14日前までに接種することで抗体が胎児に移行するとされています。妊娠38週6日までに出産を予定されている方は主治医にご相談ください。

認知症高齢者等見守りシール ~外出して戻れなくなった経験がある方のために~

問合せ 地域包括支援センター ☎0495-74-1155 FAX0495-74-1156

【見守りシールって?】

見守りシール(右写真)の2次元コードを読み取ることで、発見者と対象者のご家族等がインターネット上で情報共有でき、身元確認や家族への引き渡しができる「どこシル伝言板システム」を利用したサービスです。

個人情報を開示することなく、発見から保護、ご家族への引き渡しまでを安心・安全・迅速に行えます。



【迷っている人を発見したら】

- 正面からやさしく声をかけてください。
- シールが貼ってあれば、2次元コードを読み取ってください。専用掲示板から保護者と連絡を取れます。
- シールがない場合は、警察へ連絡して保護を求めてください。

【使い方】

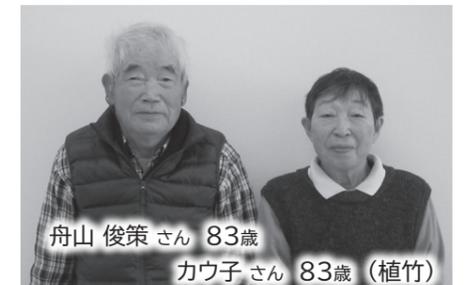


町民インタビュー ~いきいきシニアライフ~

問合せ 地域包括支援センター ☎0495-74-1155 FAX0495-74-1156

【今までの生活は?】

山形県出身の俊策さんと新潟県出身のカウ子さん。新聞への投稿をきっかけに知り合い、文通で交流を深めて結婚し2人の子どもに恵まれました。初デートで緊張しながら初めて飲んだコーヒーの味、社内旅行に家族で参加して海外に行ったことが良い思い出です。



【現在の生活は?】

一汁三菜の食事をとり規則正しい生活を送るよう心がけています。日記をつけること、夫婦でウォーキングをすることが日課です。最近、予定を忘れやすくなってきたため個々に手帳を持ち、予定を書き入れ、日程を管理しています。お互いの予定を把握するのにも役立ちます。

カウ子さんは退職後に趣味だったカメラを本格的に始めサークルにも参加。影響を受けた俊策さんもカメラを始め、撮影のため各地へ足を運びました。年数回ある写真展も楽しみの一つです。

知人から町の体操教室のことを聞き、カウ子さんが参加しました。その後、俊策さんを誘い、今では夫婦一緒に毎週楽しく頑張っています。



【これからの目標は?】

体操やウォーキングを続け、笑ったり、時にはけんかしたりしながら、夫婦で助け合い元気に過ごしていきたいです!